

NRI 上海が北京市日本企業誘致プロジェクト契約を締結



【写真】

(上段) 契約に調印する、NRI 上海北京分公司の梅総経理(左)と、北京市投資促進局の張氏。

(下段) 契約式の様子。円内は、契約式で挨拶をする NRI 上海北京分公司の梅総経理。

2010年1月12日、NRI 上海が北京市政府から日本企業誘致プロジェクトを受注することとなり、その契約式が北京会議センターで行われた。式には、NRI のほか、外国企業誘致に関する業務を受託する 23 社の代表、北京市の苟仲文副市長をはじめとする市政府関係者やマスコミなど約 150 名が参加した。

NRI 上海は受託企業に先立って契約に臨み、北京分公司総経理の梅松林と、北京市投資促進局の張吉福局長が並んで契約書に署名、調印した。調印後の会食には、梅総経理のほか、NRI からの参加者数名が出席し、苟副市長、張局長ら市政府幹部と交流した。苟副市長は、「北京は政治的、文化的な首都であるばかりでなく、経済の中心地としても成長する必要がある。10 年後、20 年後の北京に向けて、投資誘致を進めて欲しい」と期待を寄せた。

当プロジェクトでは、日本企業から見た北京の魅力や課題等を取りまとめ、2010年3月に藤沼彰久社長が北京市苟副市長と面談し、企業誘致活動や産業政策に関する提言を行う予定。